

環境のあゆみ

2012

ダイジェスト

P 1. 「ダイジェスト」「環境のあゆみ 2012 報告にあたり」

P 2. 「会社概要」「事業所一覧」

P 3. 「経営者ご挨拶」「経営理念と環境方針」

P 4. 「環境マネジメントシステムの概要」

メロディアン環境マネジメントシステム運用組織図を掲載しています。
組織図には ISO14001 認証取得組織と認証取得外組織を色分けして識別しています。

P 5. 「環境目的・環境目標の達成状況」

2011 年度(2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日)の環境目標への取り組みに対する達成状況を、にこちゃんマークでの評価結果と、その結果に対する解説を掲載しています。

P 5. 「容器包装リサイクル法への取り組み」

同法規制に従って、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会との再商品化委託契約を結んで再資源化の委託を行っています。この委託に伴う委託申請額の推移グラフを掲載しています。

P 6. 「三重工場の廃棄物処理状況」

三重工場から排出される廃棄物の主だった経路を図で示しています。

P 7. 「GHG(温室効果ガス)排出量の推移(2009 年～2011 年)」

過去 3 年間の GHG 排出量の推移グラフを掲載しています。
全社で使用する社用車の使用に伴って消費されるガソリン使用量は、2009 年度に対して 2011 年度は約 16% の節約が図られました。また、電力消費量も全事業所で同期間の比較では約 4% の節電を実現しています。

P 7. 「排水処理の管理状況(三重工場)」

三重工場の排水処理設備から河川へ放流される処理水の管理状況について、毎月の測定結果を掲載しています。

P 8. 「高山植物保護活動の支援」

1992 年(平成 4 年)の日本高山植物保護協会へ法人会員として入会以来、メロディアンは高山植物保護活動を通じて環境保全活動に対する啓蒙活動を継続してきました。2011 年度はほぼ活動計画通り実施されました。主な活動報告、高山植物観察写真を掲載しています。

P 8. 「社会貢献活動」

はなはだ微力ではございますが、取引先様と消費者のご協力により、売上の一部を、東日本大震災への義援金や地域の魅力あるまちづくりへの基金への寄付をさせていただき、社会貢献活動を実施いたしました。

環境のあゆみ 2012 作成にあたり

この環境レポート「環境のあゆみ」は、環境保全活動の報告を主な目的とし、2002 年度(平成 14 年度)より一般の方々へ公開しております。また、紙資源保護を目的に Web での公開を基本とし、冊子による配布を最小限に抑えておりますのでご理解いただきたく存じます。冊子ご希望の場合は当社ホームページよりダウンロードしてご利用ください。また、作成単位を極小化するために社内作成しておりますので、印刷インクや用紙など素材面での対応が十分出来かねている現状ではございますが、重ねてご理解いただきたく存じます。

今回の「環境のあゆみ 2012」の報告対象期間は 2011 年度(2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日)の活動内容と結果を基本としておりますが、一部報告には 2012 年度の計画を含んでいます。

活動範囲はメロディアン株式会社(全事業所)と株式会社メロディアンメンテの環境保全活動です。

昨年 6 月発行の「環境のあゆみ 2011」に対する貴重なご意見・ご感想をお寄せ頂きありがとうございました。

読者の皆様の貴重な声を今後も環境保全活動と報告書作成に活用させて頂きたく、今回も簡単なアンケートをご用意いたしましたので、忌憚のないご意見、ご感想をお寄せ下さい。

(発行担当:環境対策委員会 事務局)

会社概要

創 業 昭和33年12月6日
 設 立 昭和36年9月20日
 資 本 金 9,850万円
 従業員数 274名(2012年3月31日現在)
 事業内容 コーヒーフレッシュ、シロップ、美と健康飲料、およびデザート等の食品製造販売、化粧品製造販売
 関連会社 株式会社メロディアンメンテ、株式会社メロディアンハーモニーファイン、六甲牛乳株式会社
 沿 革

昭和33年12月 大阪府八尾市に日興乳業創業
 昭和36年 9月 日興乳業株式会社を資本金100万円で法人設立
 昭和49年 9月 資本金2,000万円に増資
 昭和54年 5月 東京営業所開設(現:東日本事業所)
 昭和55年 6月 広島営業所・福岡営業所(現:九州営業所)開設
 昭和61年11月 三重上野工場建設 敷地面積1万坪40億円投資
 平成 元年 3月 高松営業所開設(現:四国営業所)
 6月 メロディアン株式会社に社名変更
 平成 2年 4月 国際花と緑の博覧会「MELODIAN LAND」出展
 平成 3年 1月 環境対策委員会を発足
 平成 4年 4月 『環境対策委員会のあゆみ』(現:環境のあゆみ)を発刊
 10月 株式会社メロディアンメンテ設立
 11月 『日本高山植物保護協会(JAFPA)』へ法人入会と関西支部設立に協力
 12月 資本金9,800万円に増資
 平成 5年 3月 高山植物保護キャンペーン『高山植物いどりプレゼント』を実施
 社用車のディーゼルエンジン車からガソリンエンジン車への全面切替を決定(NOx対策)
 平成 6年 6月 三重上野工場排水処理設備の増設
 平成 7年 5月 当社社員より『日本高山植物保護協会(JAFPA)』の理事へ就任
 平成 8年 5月 三重上野工場へ高温度焼却炉を設置(ダイオキシン対策)
 平成10年 3月 社用車のガソリンエンジン車輛への全面切替完了と低公害車導入の決定
 12月 三重上野工場がISO9002の認証を取得
 平成12年 1月 ISO14001を全社一斉認証取得
 平成13年 4月 近畿事業所・名古屋営業所(現:中部営業所)開設
 10月 認証取得範囲を企画開発部門まで拡大しISO9001へ更新
 11月 三重上野工場の焼却炉運転の全面停止(平成14年3月撤去)
 平成14年 1月 三重上野工場から埋め立て処分場へ直接排出される廃棄物の撲滅達成
 2月 三重上野工場排水処理施設へ膜濾過設備を導入
 12月 三重上野工場にてHACCP認証取得
 平成16年 4月 岡山営業所開設
 11月 三重上野工場を三重工場へ名称変更(市町村合併に伴う変更)
 平成17年 1月 社用車へハイブリッド車の導入を開始
 11月 株式会社メロディアンハーモニーファイン設立
 平成18年 4月 四国営業所を岡山営業所へ統合し中四国営業所を開設
 平成19年 3月 三重工場へ中身入ボーション破碎分別設備を導入
 10月 研究所開設
 平成20年 4月 ISO14001 認証取得範囲から営業部、特販部、開発営業部を除外し、当社環境マネジメントシス
 テムの準適用組織とした
 平成21年 4月 広島営業所を中四国営業所へ統合

事業所一覧

本 社	〒581-0833 大阪府八尾市旭ヶ丘 1-33	TEL : 072-999-3250 (代表)
研 究 所	〒581-0869 大阪府八尾市桜ヶ丘 2-128-1	TEL : 072-924-3215 (代表)
東日本事業所	〒151-0053 東京都渋谷区代々木 4-29-4 (西新宿ミノシマビル3F)	TEL : 03-5371-3637 (代表)
近 畿 事 業 所	〒532-0003 大阪市淀川区宮原 5-1-18 (新大阪サンアールセンタービル10F)	TEL : 06-6150-3277 (代表)
中 部 営 業 所	〒450-0002 名古屋市中区名駅 4-2-7 (丸森パークビル5F)	TEL : 052-587-5150
中四国営業所	〒700-0907 岡山県岡山市北区下石井 1-1-3 (日本生命岡山第2ビル6階)	TEL : 086-235-3826
九 州 営 業 所	〒882-0014 福岡市博多区比恵町 1-3 (サンいずみビル 3F)	TEL : 092-474-4227
三 重 工 場	〒518-1151 三重県伊賀市白檜 2816-6	TEL : 0595-20-2000 (代表)

ご挨拶

私たちメロディアングループは昭和33年に牛乳会社として創業して以来、豊かな食文化の創造を目指し、「美と健康」、「おいしさはしあわせ」をテーマに、無菌充填包装技術を活かしたコーヒーフレッシュ、ポーションシロップそして飲料など、ロングライフ商品を中心とした商品開発、製造販売を実施して参りました。さらに、この無菌充填包装技術を活用した化粧品事業にも取り組んでおります。

昨年、未曾有の大惨事を引き起こした東日本大震災をきっかけに、経営環境の変化がなお一層を激しくすると同時に、電力需給状況など日本国内のエネルギー政策の大きな転換期を見据え、「環境と経営の一体化」を基本に、マネジメントシステムを活用した無駄のない環境づくりを推進し、さらなる省エネ活動、効率化生産体制への取り組みを行い、安心、安全な品質管理体制の強化とコンプライアンスを遵守した経営活動を実施して参ります。

また19年続けて参りました高山植物保護活動も引き続き支援して参ります。

今後も企業の使命として、環境に配慮し、社会へ貢献し、甚だ微力ではございますが、出来る事を着実に実施して参りたいと考えております。

今後も豊かな食文化の創造を目指し、当社の社是であります「信頼される人間、信頼される商品、信頼される企業」を基本に企業活動を実施していきたいと考えております。引き続き御指導、御支援、何卒宜しくお願い申し上げます。

2012年6月 代表取締役 社長 中西 優紀雄



経営理念 と 環境方針

【経営理念】

—— 社 是 ——

1. 信 頼 さ れ る 人 間 に な ろ う 。
1. 信 頼 さ れ る 商 品 を 作 ろ う 。
1. 信 頼 さ れ る 企 業 に な ろ う 。

—— 基本方針 ——

当社は、豊かな食文化の創造をめざし、真実と信頼の経営を展開して、顧客、取引先ならびに社員の繁栄と幸福に最大限寄与することにより、以下の5項目を基本方針とします。

- 一、信頼される商品の提供、および誠実かつ積極的な社員の人間形成を通して、企業の信頼性を向上させます。
- 一、市場環境の変化に対応した着実な規模の拡大と、経営管理システムを強化・徹底して、収益構造を強化します。
- 一、顧客第一主義にもとづいた、『おいしさはしあわせ』『美と健康』をテーマに創造性豊かな新製品の開発を目指すとともに新市場開拓をより一層推進します。
- 一、法令遵守を基本に、環境保全にも積極的に取り組み、広く社会や顧客に支持される企業づくりを目指します。
- 一、働き甲斐の創造につながる、明朗かつ風通しのよい職場環境づくりを推進します。

環境方針

1. 基本理念

当社は、高山植物保護活動をはじめとして、地球環境の保全に積極的に取り組み、社会や顧客から支持される企業作りを目指し、「物を大切に」「資源を大切に」「自然を大切に」を基本に、環境負荷の低減を図ります。

2. 基本方針

- 1) ISO14001に基づく環境管理システムの構築を行い、外部取引先様と共に環境保全活動を推進し、環境汚染の防止と環境負荷低減の継続的改善を図ります。
- 2) 環境関連の法規制、地域との協定などの順守と、これらの管理基準を整備し、管理状態の維持・向上を図ります。
- 3) 環境保全活動の目的・目標を定め、これを定期的に見直すと共に、その達成を図ります。
- 4) 無駄の排除・抑制及びリサイクルなどによる、資源の有効活用を図ります。
- 5) 電力・燃料など、エネルギーの効率的利用を推進し地球温暖化防止を図ります。
- 6) 従業員への教育、社内広報活動などを実施し、全ての従業員に対して、環境方針の周知及び環境に関する意識の向上を図ります。
- 7) この環境方針を社外へも公開し、達成を図ります。

平成24年4月1日
メロディアン株式会社
株式会社メロディアンメンテ
代表取締役社長 中西 優紀雄

環境マネジメントシステムの概要と運用状況

社長が責任者(環境管理責任者が副責任者)として経営会議を毎月1回開催しています。

この会議には、各部門の責任者である部次長をはじめ各部門の担当取締役も参加して年度目標の達成状況の確認や、必要に応じて環境情報の共有化を図ると共に、環境保全に関する重要事項の審議と決定を行っています。

また、経営会議の直下には環境管理責任者が委員長をつとめる環境対策委員会を設置し、経営会議へ上申するための実務レベルの協議、ならびに内部監査のための打合せ他、この「環境のあゆみ」編集方針の打合せなども実施しています。

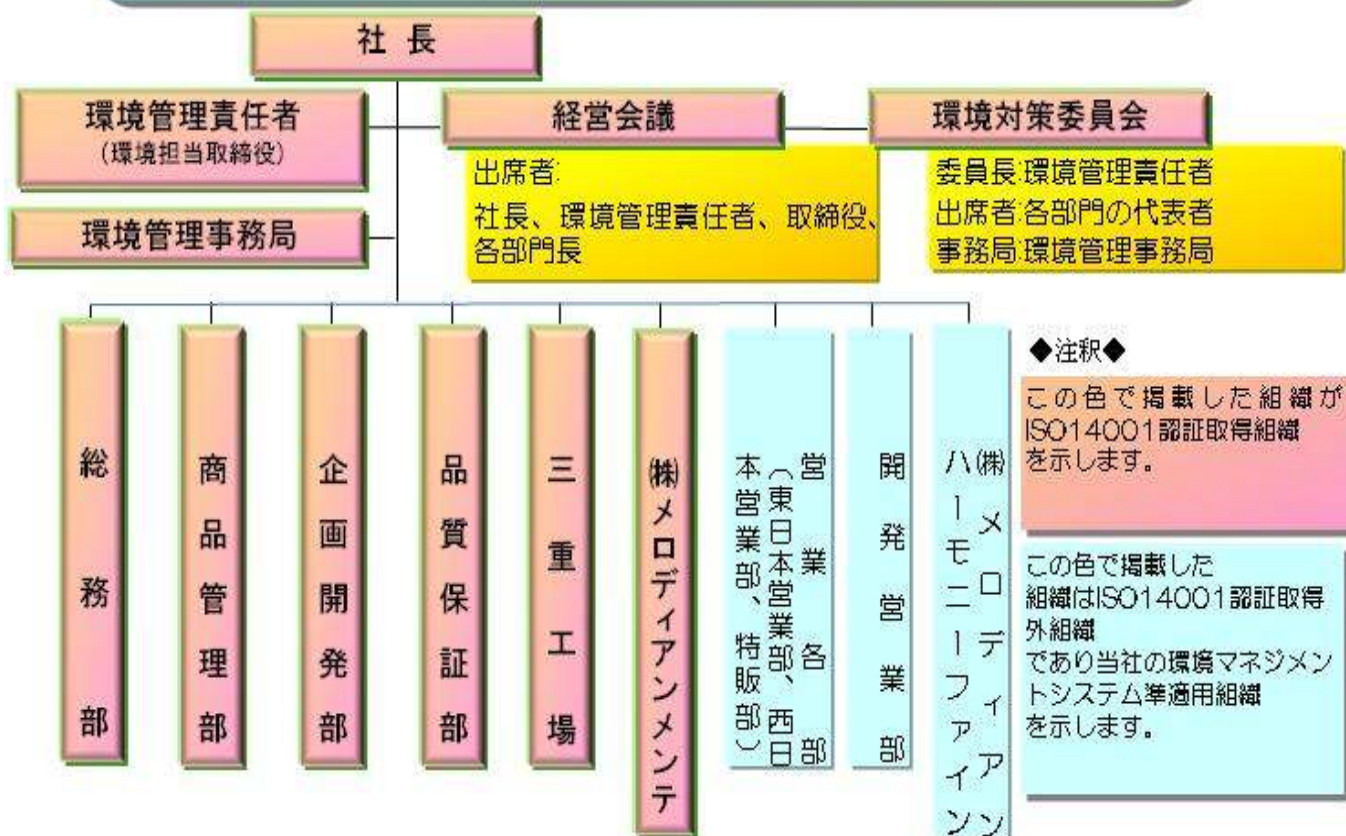
当社は2000年(平成12年)1月に環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001(JISQ14001)を全社全事業所一括で認証取得いたしました。(現在の認証取得範囲は「環境マネジメントシステム組織図」をご参照下さい。)

この認証取得以来、毎年1回以上の内部環境監査と外部の第三者審査機関による定期審査を実施し、ゆっくりとした歩みではありますが、着実に環境マネジメントシステムの維持向上に努めて参りました。

2011年度も、社内の資格認定基準を満たした内部環境監査員により全社の適用範囲を対象に内部監査を実施した結果、内部監査員から不適合として計7件の指摘が行われ「是正要求書」が発行されています。これらの指摘事項については全て該当部署による是正処置が実施され、内部監査員による確認が完了しています。

また、外部審査機関による更新審査では、不適合には至らないものの放置すると不適合に至る可能性がある事項として、計7件の指摘をいただきましたので、現状の環境マネジメントシステムを改善できる機会と捉えて、各関連部署を中心に必要な見直しを実施しております。

環境マネジメントシステム組織図



環境目的・目標の達成状況 (2011年4月1日～2012年3月31日)



【取組結果の評価マーク】

目標達成



ほぼ達成



もう少し



環境目的	2011年度の目標	結果評価	解説
更なる品質管理の徹底と効率化生産体制の充実	外注原材料支給品クレーム件数低減		昨年対比では低減できたものの、残念ながら目標達成できませんでした。
	不適合件数抑制		いずれも目標、昨年対比を上回り、不適合件数に至っては、昨年、一昨年を上回る結果に終わってしまい、ロス低減につながりませんでした。
	中身入りポーションロス抑制		
更なる経営と環境の一体化の推進	環境データの継続把握		年度当初に立てた計画に沿って、継続的かつ確実に目標を達成することができました。
	グリーン販促物購入比率の70%維持		およそ80%を維持し、今年度も引き続き、達成ができました。
	商品さばきサンプル昨年対比で抑制		日付が古くなり正規価格で販売できなくなってしまう商品(=商品さばきサンプル)の発生は前年対比で抑制できませんでした。
	輸送品質のアップをはかる。物流破損比率の低減		残念ながら前年実績も上回る比率となってしまいました。
	エネルギー原単位低減(年間)		最後の最後に、目標を達成することができました。来期も継続改善していけるよう、見直しも図って参ります。

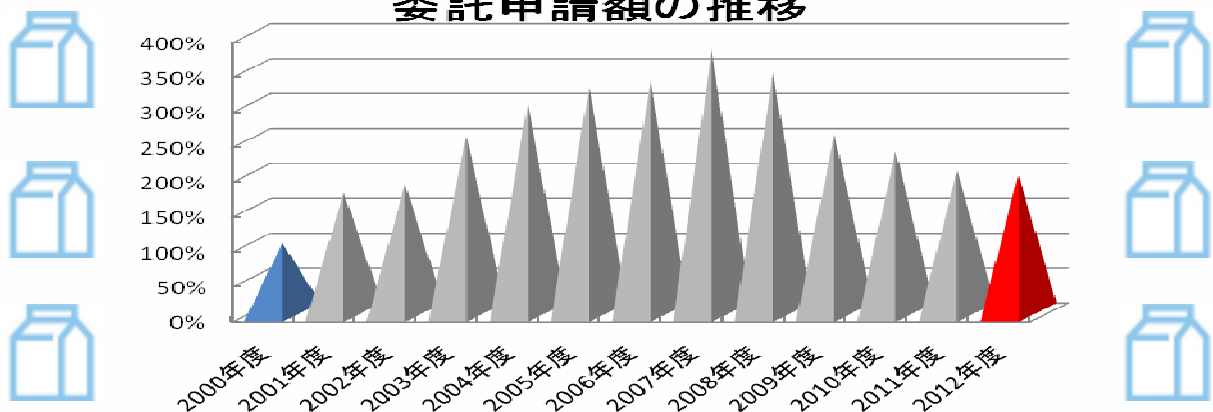
環境保全活動：容器包装リサイクル法への取り組み

当社は、容器包装リサイクル法に定められた「特定容器利用事業者」として、法に定められた指定法人である「公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会」様と再商品化委託契約を締結し、当社が製造販売する食品の容器包装に係るリサイクルに関する委託を行っています。

その委託量は、毎年度の販売数量に基づいて算出しますが、2006年度の算定方式変更によって、委託数量の推移を単純比較できないため、この委託に伴う申請額の推移を公開指標として毎年掲載しています。

今回掲載には、2012年度の申請額まで掲載することができました。初年度の2000年度の委託申請額を100%としますと、2012年度の申請額は197%となり、一時期は300%をゆうに超える申請額でしたが、委託単価や算定係数の推移により、下のグラフのとおり推移しています。

委託申請額の推移

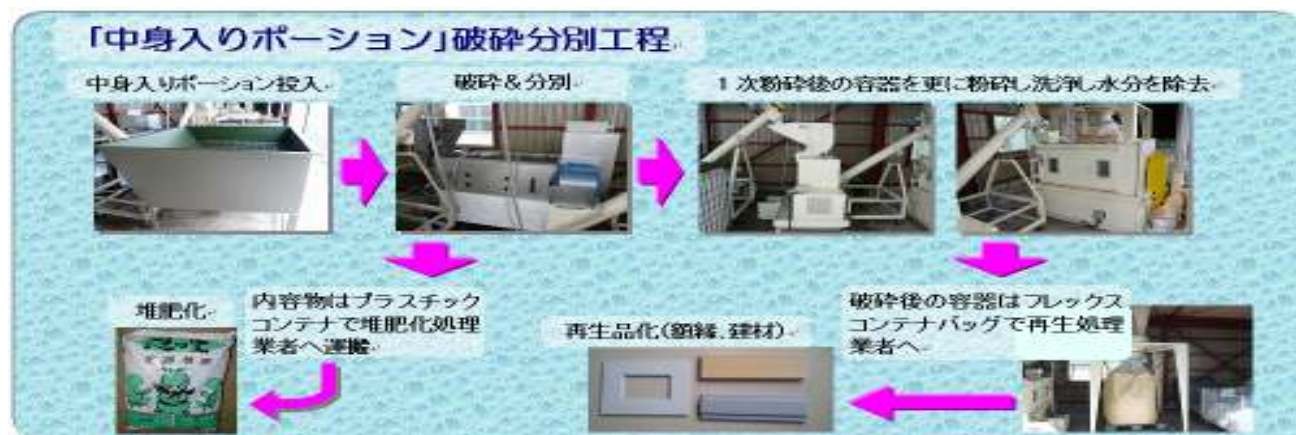


三重工場の廃棄物処理状況

三重工場から排出される廃棄物を次のような流れで、資源の有効利用に配慮した処理に努めています。

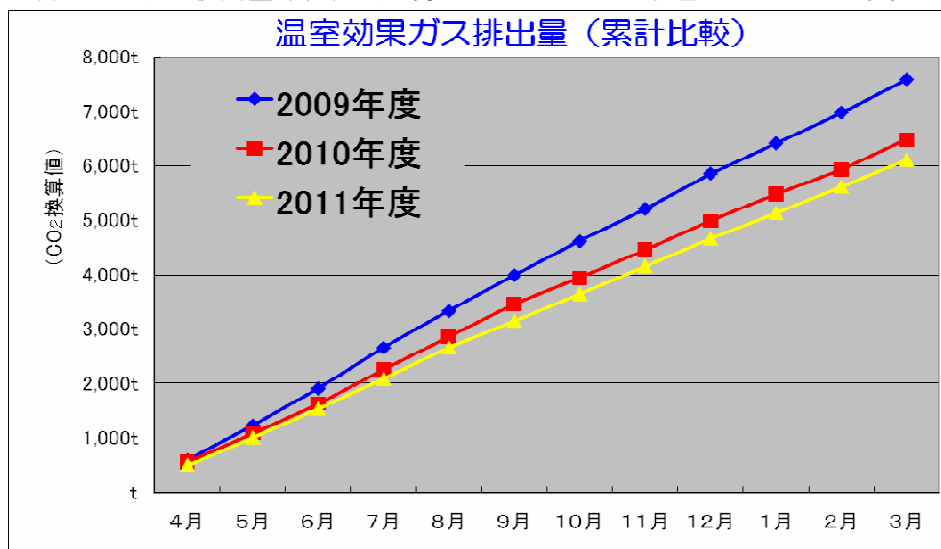


特に、生産中の品種切り替え時や、包装材料の継ぎ目などで発生する中身入ポーションを、できるだけ分別し、排出後の処理が資源の有効利用につながるよう、その多くの部分を敷地内で **破碎・分別** してから、それぞれの再生・再利用できる処理業者へ排出しています。



G H G 排出量の推移（2009年～2011年）

昨年、一昨年と事業活動に伴う温室効果ガス（G H G）の排出量を低減してきました。
各事業所で省エネに取り組んだ成果として、2009年度と 2011 年度では全事業所で約 4 %の節電、約 1 6 %のガソリン使用量節約、を実現していることも好影響を与えています。



排水処理の管理状況（三重工場）



三重工場の生産ラインから排出される排水の管理状況は、昨年の報告以降も下表の通り、関連する法規制の基準値を下回って問題なく推移しています。

単位：mg/L（但し、水素イオン濃度は単位なし、大腸菌群数は個/ml）

測定項目(基準値)	測定サンプル採取日(月/日)と測定結果											
	4月19日	5月17日	6月15日	7月13日	8月2日	9月14日	10月3日	11月10日	12月9日	1月12日	2月9日	3月15日
水素イオン濃度 (5.8～8.6)	6.50	7.20	6.30	6.70	7.10	6.70	6.80	7.20	7.50	6.50	7.60	7.40
生物化学的酸素要求量 (25 以下) *	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
化学的酸素要求量 (なし)	7.10	9.90	10.70	10.70	8.00	10.10	9.60	11.90	11.50	11.60	9.00	8.80
浮遊物質 (90 以下)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
ノルマルヘキサン抽出物質 (30 以下) *	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
全窒素 (120 以下)	17.40	16.70	20.60	15.90	15.60	15.70	24.00	8.30	4.80	22.90	18.50	16.10
全リン (16 以下)	0.44	0.58	0.40	1.00	0.52	0.37	0.55	0.57	0.22	0.11	0.95	0.41
大腸菌群数(3000 以下) *	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00
鉄 (10 以下)	1.00	1.60	2.00	1.20	1.30	1.40	1.40	2.00	1.70	1.80	1.40	1.20
マンガン (10 以下) *	0.10	0.24	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	0.20	0.10	0.10
亜鉛 (2 以下)	[年1回測定項目] 0.1 未満 (3月15日採取)											
基準適合判定	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合

【解説】基準値末尾に*印の測定結果は測定限界値以下のため測定下限値を記載、但し大腸菌群数は陰性を示す(－)を記載

高山植物保護活動の支援

メロディアンは、特定非営利活動法人 日本高山植物保護協会（通称：JAFPA／ジャフパ）を応援しています。

特にメロディアン本社が関西圏にあることから、JAFPA関西支部設立のお手伝いも参加させていただいたご縁もあり、単に法人会員として入会し、経済的な支援にとどまるのではなく、入会当初から関西支部の幹事として社員を派遣させていただき、また従業員の多くも個人会員として参加させていただくなど、共に高山植物を通じて自然環境の大切さと環境保全への啓蒙活動に参加させていただいています。

2011年度は当初活動計画通り進行する予定でしたが、東日本大震災の傷跡残る中、各個人法人会員様の影響も鑑み、伊吹山春の観察山行は中止とさせていただいております。なお伊吹山山頂美化活動につきましては、関西支部役員に参加いただき、山頂遊歩道の保護策補修作業や清掃美化活動を実施いただきました。下期活動におきましては、高山植物にとどまらず、環境問題に対する意識を高め、日常の生活に活かすため、環境学習会を実施しております。2011年度においては、吹田市資源リサイクルセンターを見学し、破碎選別工場のごみ処理、破碎・選別工程の見学、市民ボランティアによる今後の環境活動へのヒントを得る学習会となりました。年間を通じては、おおむね活動目的を達成できた形となっております。伊吹山 他、主な高山植物の画像を掲載しておきますので、ご参考にしていただき、高山植物への興味をあげていただきたく存じます。



コマクサ

：関西支部会報の名前にもなっており、高山植物の女王といわれます。花の形から馬の顔を連想してつけられたのでしょう。



キタダケソウ

：名前の通り、北岳の特産種で JAFPA のシンボルの花。



ハクサンフウロ

：フウロソウ科。
伊吹山が南限といわれ、高山のものは色が濃いですが、伊吹山のものは淡色のものが多いとのこと。



イブキジャコウソウ

：シソ科。
山地ときに平地にはえる草本状の小灌木。
ハーブの一種で香気あり。
北海道・本州・九州に分布。



リュウキンカ

：キンポウゲ科。
花言葉は「必ず来る幸福」
茎が立つからことから立金花と言われるようになったとのこと。



キヌガサソウ

：ユリ科。別名ハナガサソウ。
花は1個つけ外花被が弁状、内花被は細かく小さい。葉状を奈良時代の高貴な人にさしかけた衣笠にみたてた。

社会貢献活動

環境保全活動とは直接関係はございませんが、既存の取引先様にご協力いただき、消費者の皆様からいただいた売上の一部から、近隣地域の魅力あるまちづくりや、東日本大震災復興に、お役立ていただく基金や義援金への寄付をさせていただき、微力ながら可能な範囲での貢献活動をさせていただきました。



